

蚕

小さな黒い毛虫さん

姿の割には「オカイユ」と可愛い名前をもらい

瑞々しい桑の葉を

驟雨のような音をたて

あつという間に山ほど平らげ

黒から白へと衣装も変り

丸々と太って美人になる

ある日首をかしげて考え始める

体の動きも緩やかになりやがて静止する

哲学者の思索に沈み

水飴の様に半透明な沈黙を続ける

やがてマジックが始まる

純白の糸を吐き自らの身を包む

次第に厚みを帯び全身を包んだ白い衣は

やがて柔らかな闇にあなたを眠らせる

不安もなく暗闇を通りぬげるあなたには

マジシヤンのような自信と誇りがある

何もない掌にバラが現れ、それが鳩に変わり

五色の紙ふぶきとなって辺りに舞い飛ぶ

夜の帳を開けて第二の生命を試みる時

あなたには豊かな色調に飾られた

大きな強い羽根がある

もう一度飛び立とうとする

執念の羽根が生まれている

あなたの夜も

あなたの夢も僕にはない

二つの命を繋ぐ夜が

僕にはないのだ

(2008.6.28)